

映像やサウンド・インスタレーションなど様々な技法を用い、
セクシュアリティ、ジェンダーへの問題を追究する美術家 百瀬文の美術館個展

十和田市現代美術館 企画展

百瀬文 口を寄せる

2022 年 12 月 10 日（土）－2023 年 6 月 4 日（日）



十和田市現代美術館では 2022 年 12 月 10 日（土）から 2023 年 6 月 4 日（日）まで、百瀬文の個展「口を寄せる」を開催します。百瀬は主に映像作品で、他者とのコミュニケーションの中で生じる不均衡をテーマとし、身体・セクシュアリティ・ジェンダーを巡る問題を追究しています。本展では、女性声優をテーマにした新作サウンド・インスタレーション《声優のためのエチュード》を発表します。この作品は、「声」だけが聞こえ、性別を判断できるキャラクターの容姿やしぐさが映し出されたアニメーションがありません。映像と切り離された「声」は、性別を超えた流動的な存在として表れます。新作の他に、耳の聞こえない女性と耳の聞こえる男性との触れ合いに生じるすれ違いが映し出されている《Social Dance》や、百瀬の父親が百瀬の書いた 173 問の質問項目に口頭で答えていくなかで、その回答が父親の意志から離れていく《定点観測（父の場合）》など、性別や世代の異なる他者との関係やその背後にある見えない存在や抑圧が映し出された作品を出展します。展覧会タイトルの「口を寄せる」は、他者に寄り添う動作を連想させますが、「声」がさまざまな身体を行き来していく様子にもつながります。存在しているのに、抑えつけられ、ないものとされていた「声」に向き合う展覧会となります。

本展の見どころ

1. 本展のために制作された最新作《声優のためのエチュード》を初公開
2. 最新作のテーマ「声」とつながる過去作の展示
3. 会期中のアーティスト・トークや作品上映会

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 新作《声優のためのエチュード》について 百瀬文 】

声優という職業のことが昔からずっと気になっていた。私たちがキャラクターを見ると、声優の姿を見ることはできない。声優たちの声を生身の身体に結びつけようとした途端に、キャラクターはキャラクター自身の声を失い、その姿は瓦解してしまう。日本では伝統的に少年キャラクターの声を女性声優がずっと演じてきた。未分化なものとしての声。私たちが少年キャラクターの声を聞くとき、それが少年であるという判断はいったい何によってなされているのか。声自体にはたして性別はあるのか。今回作ろうと思っているインスタレーションは、私たちの脳裏にそのような流動的な身体を浮かび上がらせるための幻燈機のような装置である。

【 本展の見どころ 】

1. 本展のために制作された最新作《声優のためのエチュード》を初公開

本展のために制作された新作《声優のためのエチュード》を展示します。この作品は、主に映像を用いて作品を制作している百瀬初の試みでもあるサウンド・インスタレーションです。「声」に合わせて1つの灯が揺らぐ薄暗い空間には、スタンドマイクが1本置かれ、キャラクターに声を吹き込むレコーディングスタジオを思わせます。誰もいない空間から聞こえる「声」は、見ようとしていなかった存在を徐々に可視化させていきます。

2. 最新作のテーマ「声」とつながる過去作の展示

本展では、今回の展覧会のテーマでもある「声」に関連する過去の作品を出展します。《Social Dance》(2019 年)や《定点観測 (父の場合) 》(2013 年-2014 年)のほか、鑑賞者がある番号に電話をかけると予期せぬ留守番電話のアナウンスが流れてくる《Here》(2016 年)、視力検査を題材にした医師と患者の間の応答が映し出されている《The Examination》(2014 年)などが出展されます。そして、本展のメインビジュアルでもあり英語タイトルにもなっている新作の平面作品《Interpreter》(2022 年)も展示予定です。

3. 会期中のアーティスト・トークや作品上映会

会期中にはアーティスト・トークや作品上映会を予定しております。作品上映会では、2021 年に制作した《Flos Pavonis》を上映します。この作品は、ポーランドで 2021 年に成立した人工妊娠中絶禁止法や日本の堕胎罪などの状況が映し出され、個人の身体に対する国家権力による管理がコロナ禍で強化されてゆく様を感じさせます。作品上映会後は百瀬によるトークも予定しています。

【 アーティスト 】

百瀬 文 (ももせ・あや)



撮影：金川晋吾

1988年東京都生まれ。2013年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。

主な個展に「I.C.A.N.S.E.E.Y.O.U」(EFAG East Factory Art Gallery、東京、2020年)、「サンプルボイス」(横浜美術館アートギャラリー1、神奈川、2014年)など。主なグループ展に国際芸術祭「あいち 2022」(愛知芸術文化センター)、「新・今日の作家展 2021 日常の輪郭」(横浜市民ギャラリー、神奈川)、「彼女たちは歌う」(東京藝術大学 美術館陳列館、2020年)、「六本木クロッシング 2016 展：僕の身体、あなたの声」(森美術館、東京)、「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋——日本と韓国の作家たち」(国立新美術館、東京・韓国国立現代美術館、ソウル、2015-2016 年)など。2016 年度アジア・カルチュラル・カウンシルの助成を受けニューヨークに滞在。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷 (おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 パブリック・プログラム 】

アーティスト・トーク

日時：2022 年 12 月 10 日（土）14：00 - 15：00

会場：十和田市民図書館 多目的研修室 [住所：青森県十和田市西十三番町 2-18]

料金：無料 *要企画展チケット

登壇：百瀬文

学芸員によるギャラリートーク

日時：2023 年 1 月 21 日（土）13：00 - 14：00

会場：十和田市現代美術館 企画展示室

料金：無料 *要企画展チケット

映像作品《Flos Pavonis》上映会

日時：2023 年 3 月 4 日（土）17：00 - 18：00

会場：十和田市現代美術館 カフェ（予定） | 料金：無料 *要企画展チケット

登壇：百瀬文

※上記パブリック・プログラムに参加される場合は事前予約が必要です。

※上記の他にも、会期中にパブリック・プログラムを予定しています。詳細は後日発表します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、日程や実施内容が変更となる場合があります。

【 開催概要 】

展覧会名：「百瀬文 口を寄せる」

会 期：2022 年 12 月 10 日（土） - 2023 年 6 月 4 日（日）

開館時間：9:00 - 17:00（入場は閉館の 30 分前まで）

休 館 日：月曜日（祝日の場合はその翌日、ただし、1 月 2 日（月）は臨時開館。

12 月 27 日（火）～1 月 1 日（日）は冬季休館。1 月 10 日（火）～19 日（木）はメンテナンス休館。

※2023 年 4 月以降の臨時開館、休館日については現在未定です。後日 web ページにてお知らせします。

観 覧 料：1800 円（常設展込み）。高校生以下無料。

主 催：十和田市現代美術館

協 賛：木越純（Art & Railways）

協 力：株式会社パシフィック ハウス テクスタイル

後 援：青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、デーリー東北新聞社、東奥日報社、十和田市教育委員会

キュレーター：見留さやか

十和田市現代美術館

2008 年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示しています。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができます。

所在地：青森県十和田市西二番町 10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138 web：www.towadaartcenter.com



お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX : 0176-20-1138 / E-mail : press@towadaartcenter.com

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

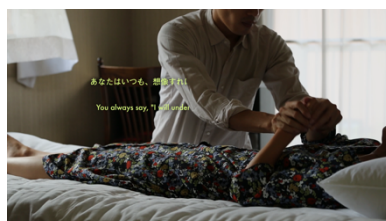
十和田市現代美術館 広報 大谷 行

【1】



《Interpreter》 2022 年
紙にインクジェットプリント、サイズ可変

【2】



《Social Dance》 2019 年
シングルチャンネル・ビデオ、10 分 33 秒

【3】



《定点観測（父の場合）》 2013-2014 年
シングルチャンネル・ビデオ、10 分 26 秒

【4】



《The Examination》 2014 年
シングルチャンネル・ビデオ、7 分 2 秒

【5】



《Flos Pavonis》 2021 年
シングルチャンネル・ビデオ、30 分
参考作品

【6】



撮影：金川晋吾

【7】



十和田市現代美術館

媒体名

媒体ジャンル 新聞／雑誌／美術誌／テレビ／WEB／その他 ()

御社名

御担当者名

所在地 〒

電話

メールアドレス

【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com